



2面・3面 巡回公演だより/園からの声  
4面 制作だより/演育ワークショップ/事務局だより/新しい仲間紹介 ほか

http://www.suginoko.org/  
E-mail: support@suginoko.org

# 過去が咲いている今 未来の蕾でいつばいな今

理事長  
**大場 隆志**

わたせることで、新しい知が生まれる。これはいまだに変わらないイノベーションの原理原則です。

しかし人間の認知能力には限界があり、どうしても今自分が見ている目の前のものだけをつい組み合わせてしまっています。

新年、明けましておめでとうございませう。  
皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
また皆様におかれましては、本年も素敵な一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

劇団すぎのこは、一九六四年(昭和三十九年)東京オリンピックの年に、産声をあげ、テレビでは決して味わう事が出来ないナマの舞台の感動を、どんな離島山間僻地にも届けてまいりました。  
全国の幼稚園や保育園での巡回公演は、六〇周年を迎えた昨年ま

でに九万二千二回、九一四万余名の観客動員数を果たしてまいりました。  
また、公演活動だけでなく、国際わんぱくクラブを開催して、タイ、フィリピン、シンガポール、中国、韓国、日本が参加する子どもたちの健全育成のための活動へと発展させました。

私たちが持っている知とは、人形から生まれる人形劇、作品から生まれる教育、公益財団法人としての芸術文化振興ということになると思います。  
そして新しい知と組み合わせると次のようになると思います。

そのような活動が六十年経った今でも受け継がれ、人形劇作品を制作しながら全国各地で上演し、芸術文化の普及と子どもたちの情操教育に貢献しています。

前理事長の小澤幸雄顧問が咲かせた花が今でも咲き続けているということだと思えます。

■演劇×教育  
AIの到来、予測を超える技術進化、あふれ飛び交う情報社会の中で求められる教育として、「表現力」「コミュニケーション力」「創造力」を養う教育として演育を進めていきます。

■公益財団法人×劇団  
日本の劇団業界で観客を集めて興業することで生まれる利益だけで生計を立てている組織は極めて少ないことから、私たちは公益財団法人として、多くの劇団の皆様と協力関係を築き、相互発展を目指します。

少年高齡化が進んでいる日本の状況、世界各地で紛争やテロが頻発して平和が脅かされている予測不能な時代に、変化を機会に変え、新しい価値を創造していかねばならない。そして私たちが、やりがいと成長と共感をともなう活動は何か。そして、そのアイデアとこの世に存在している知と、まだ組み合わせられたことのない知を掛け合

少年高齡化が加速していく日本での児童演劇の展開方法の模索と、幼稚園・保育園を中心とした人形劇だけでは無い公演活動の展開を進めていきます。

■人形×世界平和  
一九二七年(昭和二年)に行われた日米親善人形交流に際してアメリカの児童から日本の児童に贈られた通称「青い目の人形」が二年后に一〇〇周年を迎えます。このことを記念して、日本とアメリカが平和と友情のために人形を送ることを考えた素晴らしさを再認識し、これからの世界平和と友情を誓う機会となるイベント開催を進めていきます。  
青い目の人形交流は、渋沢栄一の「道徳経済合一説」とも深くつながっています。彼は、経済や政治だけでなく、道徳や文化が平和の基盤となると考えていました。この人形交流は、国民レベルでの交流を通じて、対立ではなく協力を基盤とした国際関係を築く実践例としての取り組みだったと言えます。  
青い目の人形交流は、日本の子どもたちに大きな感銘を与えましたが、第二次世界大戦が勃発すると日米関係は悪化し、多くの青い目の人形が破壊されるなどの悲劇もありました。  
しかし、戦後になって、これらの人形は日米の友好の象徴として再び注目され、平和教育の一環として語り継がれています。  
二〇二五年を迎え、公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会に、新たな未来の蕾が見えてきたと思います。  
次の七〇周年に向けて、今まで以上に、社会に必要とされる価値を創造し、社会に必要とされる組織を目指してまいりますので、何卒よろしくお願いたします。



創立60周年記念祝賀会に於いて(左から大場理事長、榎本理事、小澤顧問、下村理事)

# 巡回公演だより

## 金のおの銀のおの 班

あけましておめでとうございませす。

「金のおの銀のおの」班は、昨年二学期は九州一円をめぐる、一学期は北海道を巡回しました。狭い日本といながら、遠くまで旅でした。

金、銀と聞くと、オリンピックを連想します。銅より銀、銀より金が立派で美しい、そんな気がします。劇中でも、木こりが金の斧がほしくて嘘をつきます。でも、最後には自分の鉄の斧（銅、では無いのですが）をピカピカに磨きます。

園にお邪魔して、上演前に準備をしていると、教室から「ゲー、チョコキ、パー」の歌が聞こえてき



ました。ゲーはパーに負ける。パーはチョコキに負ける。チョコキはゲーに負ける。じゃんけんは堂々めぐりです。子どもたちが、高らかに、朗らかにその歌を歌うのを聞いてみると、人はそれぞれに違いがあり、それを認め合えたらいいんだな、と思います。いや、そんな通り一遍の言葉じゃなくて、互いに混じり合い、でも、個であるべきなんだということが、心の芯に響いてきます。

この日この園では、運動会のかけっこの練習もしていました。転んでピリになった子が、泣いていました。幼心にも、負けて悔しい涙がありました。

ゲー、チョコキ、パーの歌があるよ。負けてもいいよ。上演後、その子の笑顔が、ピカピカに輝いていました。

(榎本均)

## たのきゅうのうわばみしたいじ 班

あけましておめでとうございませす。今年には巳年ですね！昨年からは大蛇と共に旅をしている私たち、ぜひそのご利益にあやかりたいところですよ。

いつも上演が終わるとお人形たちが子どもたちをお見送りするのですが、舞台から出てきた大蛇にみんな大興奮。恐る恐る手を差し伸べたり、頭をバクッとされたたり、「きやー！」「こわーい！」なんて言いながらその顔はニコニコ。とっても楽しみな時間の一つです。

世界各地の神話や物語でへびは、時に神様のような存在になり、時に畏怖の化身になる、二面生のある不思議な生き物です。目の前で生き生きと動き回る大蛇を真剣な

# 園からの声

## 金のおの銀のおの

■阿久根めぐみこども園（鹿児島県阿久根市）

今回も楽しい時間でした。子どもたちの表情や親しみやすい物語と歌と人形劇と、私たち保育者も学ばせて頂く部分が多かったです。子どもたちと早速、手作りの人形劇を作成し、遊びの中でも楽しんでいきます。

改めてお越しいただき、ありがとうございます。

■白鳥保育園（鹿児島県豊後市）

今年も来園いただき、有難うございました。5歳児から0歳児まで全員で観る事ができるのが、すぎのこさんに来ていただく最大のメリットだと思います。すぐ目の前で練り広げられる演者さんの演技力に子ども達は釘付けです。舞台セット、人形、どれも素晴らしく、3人で展開されているとは思えません。毎年楽しみにしております。

## たのきゅうのうわばみしたいじ

■認定こども園吹上保育園（青森県八戸市）

とても楽しく観ることができました。配慮の必要な園児に対して、ご対応頂きありがとうございます。安心して観ることができまし

た。また、室内を暗くするときの導入の仕方が素晴らしく、いつもは暗くなっただけで泣いてしまう園児もいるのですが、皆、暗くなったことに納得して観ていたんだなあと思いました。

大きなへびもコミカルで楽しかったです。ありがとうございます。

■今別こども園（青森県東津軽郡）

いつも楽しく見させて頂いております。「こねこと糸玉」は2つのものから、あんなに子ども達も盛り上がりつついて驚きました。動きが上手なのでリアルで面白いのでしようね。「たのきゅうのうわばみしたいじ」ではうわばみの動きがすばらしく、子ども達も大興奮でした。50分間で集中心

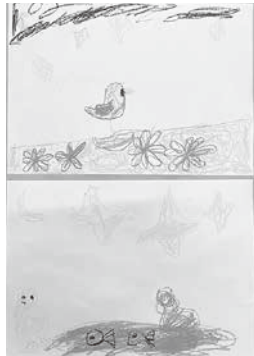
てじっくり子ども達は観ていました。引きつける技術が素晴らしいと思います。勉強になりました。ありがとうございます。

## マーリヤンとまほうのふで

■かがみの中央こども園（岡山県吉田郡）

「マーリヤンとまほうのふで」のお話が始まったときには、少し難しいかな？と思いましたが、背景が映像で、場面展開が分かりやす

▲北海道滝川市・滝川幼稚園より②

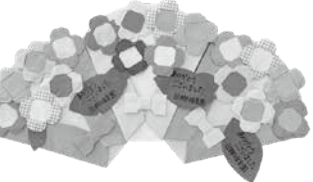
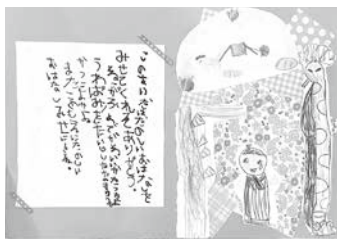


▲北海道滝川市・滝川幼稚園より①

▲青森県八戸市・旭ヶ丘こども園より



▲山口県周南市・あおば幼稚園より②

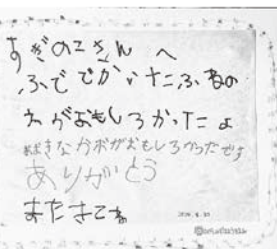


島根県浜田市・日脚保育園より



▲山口県周南市・あおば幼稚園より①

▲鳥取県米子市・東みずほ幼稚園より



▲広島県呉市・焼山保育園より



▲鳥取県安来市・みゆきこども園より

眼差しでみる子どもたち。みんなの目にはどんな風に映っているのでしょうか。今年もたのきゅうのうわばみたいじ、よろしくお願ひします！

(吉田 薫)

### まほうのふで 班

マリーヤンとまほうのふでは中国のお話。私がこの作品を知ったのは、2024年度のすぎのこの新作候補として挙がったときでした。—ある日仙人からもらったのは、描いたものが本物になるまほうのふで—これだけで、もうわくわくしますよね。人形劇にしたら絶対面白い、ということでも今回巡回作品になりました。

日本にも和訳された絵本があり、人形劇のストーリーも概ね元のお話に沿ったものとなっています。ひとつ、大きく違うのは龍が出てくる点。「龍を登場させたい」ということで、みんなで見えを出し、わくわくするシーンに仕上がったかと思ひます。

ところで、日本で龍と言え、



緑色の龍を思い浮かべる方が多いかと思ひますが、中国では龍といえば金色！だそうです。どうぞ色味にも注目して観てください。

今回この作品を制作していく中で、お話の舞台である中国について、ネットやニュースを通して、知っているつもりでいました。でもそこで見えるのはごく一部。与えられた情報だけでなく、自分でもこの作品を観たひとたちが、お隣の国について「もっと知りたい」と思ってくれたら嬉しいなと思ひます。

(石山 和佳)

### ずいてん・ねずみの嫁入り 班

私達は、昨年11月、12月、「ねずみの嫁入り」「なかよし」と2作品で、九州、沖縄を回りました。「キャハハ：」「ガツハッハ」と、一斉に聞こえる子ども達の声。すっかり人形劇の世界に入りこんだ子ども達は、「あつちだよ」「うしろ、うしろ！」「下だつてばあ」と、かくれんぼをしている人形に教えます。自分の放った言葉に劇中で人形が返してくれるのです。こんな事はテレビや映画では絶対にない、大興奮だ！と、私は裏方を手伝いながらくりりと笑う。盛り上がったところで、ピタリと声が止みシーンとする。これもベテラン演者K氏のなせる技です。そして、ポンちゃんチビちゃんが帰るころには、「また来てね」「あしたも来てね」と声がかかる。演者としては幸せなひとときであります。(ポンちゃん、チビちゃん：「なかよし」より)

2作目は、「なかよし」とは違

って、次から次へと登場人物が出て来るので、子ども達も真剣です。人形劇が終わって先生が子ども達に尋ねます。「何がもしろかった？」「壁さんが出て来たところろ！」「風さんがおもしろかった！」子ども達は口々に今見たばかりのお話しを得意気に話します。こうやって口に出す事で、もう一度楽しんでるのだなあと、嬉しくなります。

家に帰って、ご家族にもお話しする子がいるかなあ。お母さんはどんな想いで受けとめるのかなあ：と、先の先まで想像してニヤケてしまふ私でした。

園で上演準備が整ったひと時、先生と何気ない会話をすることがあります。「何年も前に人形劇を観た時に、とても楽しくて、子ども達も大喜び。移動先のこちらの子ども達にもぜひ観せてあげたくて、お願いしました。」と先生がおっしゃり、そして「もしかして、あの時の方ですか？またお会い出来るなんて!!」と、ベテランK氏を見る。何年も経て、別の土地での再会(?)。大変嬉しい偶然で



く、小さい子ども達も楽しんで最後まで観ることができました。ありがとうございました。

■とくふう幼稚園(広島県呉市)

子ども達はとても楽しみにしていました。演者の方がとても上手で、子ども達もお話の世界に入り込み浸っていたと思います。今年はプロジェクターでの映像に相まって、独特の世界観でも良かったです。場面転換もとてもスムーズで、子どもの意識が途切れることがなく、お話しに没頭できました。教室に帰ってからの話し合いでも内容をよく捉えていました。私たち大人も異世界にいる気分、見終わってからも余韻を楽しめました。最後の場面の走馬灯のような演出

もステキでした。

### ずいてん・ねずみの嫁入り

■認定こども園かんぎおん(長野県上田市)

デジタル化した世の中で生の人形劇を観られることが貴重な体験になりました。劇中、子ども達も声を出して参加できる場面もありよかったです。なかなかお話しにふれる事が少ないので、日本昔話、童話など子ども達に分かりやすいお話を伝えてもらえたらと思います。来年も楽しみにしています。(ずいてん)

■種子こども園(岩手県九戸郡)

小さい子には難しいのかと思っていた部分もありましたが、豊かな語りと人形の動きに集中して観

した。日々、子ども達の心に小さな種を蒔いていけたらと願っていました。先生の心にも芽が出ていた想いでした。

(服部 和枝)

### もぐもぐ 劇場 班

開演10分前。子どもたちが、人形劇の部屋に入ってきた。私の顔を見るなり、笑顔で手を振ってくる子。「どこから来たの」と聞いてくる子。何があったのか、泣いている子。

先生の話が終わり「すぎのこさくん、お願いしまふす。」

私は「はーい」と言つて、ギターを弾く。

♪さあさ・さあさ・さあさ・はじまるよ！ さあさ・さあさ・さあさ・はじまるよ！

最初、「みんなが歌おう」。パネルシアターの形式で、「こ

れていた。初めは泣いた赤ちゃんも最後まで観劇できていたことに驚きです。

単調なリズムのうちわたいこが子ども達に心地よく響き、集中するきっかけになっていたように感じました。楽しい人形劇をありがとうございました。ありがとうございました。(ねずみの嫁入り)

### もぐもぐ劇場

■相模が丘東保育園(神奈川県座間市)

今回、短いお話3編 パネルシアター「こぶたぬきつねこ」「んじん、だいこん、ごぼう」と人形劇(ぞうと犬)を演じていただきました。1人で左右の人形を動かす技術がすばらしいと思ひました。

ちと私(もぐら君)との勝負です。上演が終わる、人形で子どもたちを見送りしていると、初め泣きながら入ってきた子が、満面の笑顔で「チロ」に抱きついてきました。

さあ、次はどんな子どもたちと出会えるか、とても楽しみです！

(下村 あきら)



# 制作 だより

新年明けましておめでとうござい  
ます。昨年はすぎのこ創立60周  
年の年で、案内のお電話をした際  
や上演に伺った際に、先生方から  
お祝いのお言葉を沢山いただきました。  
さて、来年度の新作が決まりま  
した。日本の昔話「かさじぞう」  
です！今は、脚本について検討し

## 講習会報告

### 演育ワークショップ

埼玉県飯能市にある、さゆり幼  
稚園において、10月9日、23日に  
今年度5回目の「演育ワークショ  
ップ」を行いました。年少組は、  
今年度初めてのワークショップで  
す。「生き物の表現」を実施しま  
したが、身体全体で元気に表現し  
てくれました。年中・年長組は、  
相手をよく見て観察する力を養う、  
「鏡の表現」。子どもたちのユニ  
ークな発想に、楽しいワークショッ  
プになりました。11月・12月は、  
12月に実施するクリスマス会での  
劇を題材に、具体的に演育の要素  
を取り入れた授業を行いました。  
そしてクリスマス会では、一人一  
人が、自分の役を大きな声で元氣

たり、どの様な舞台・人形にする  
かなど、準備を進めています。  
（大みそか、雪、石の地蔵さま  
寒かろうと、かさをかぶせるじ  
いさま  
いいことなすつたなあと、ばあ  
さま 雪の寒さにまけない 暖か  
い素朴な情感  
石の地蔵が動く、話す。人の心  
の豊かさとは  
語りつがれる日本の昔話を、劇  
団すぎのこがお届けします。ご期  
待ください！

(下村 明)

に表現してました。

「演育」とは

- ①知識の教育・感性と心を育む教育・健やかな体を育てる教育を統合し、演劇的方法の活用によるメソッドを演育と表現する。
  - ②見る、聞く、感じる、考える、話す、伝えるという人としての基礎能力を育むメソッドである。
  - ③多様な価値観がぶつかり合う時代に、人と異なる視点を持つことの大切さと、相手を理解することの大切さを育む。
- ※「講演会」「演育ワークショップ」のお問い合わせは、財団本部 03-3984-2396まで。

## 事務局 だより

63

当財団には、群馬県に日本小型

自動車振興会（現公益財団法人JKA）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ癒恋研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。（利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません）

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」や

バラキ高原癒恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはバーベキューが楽しめる集会所が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

癒恋研修センターに関するお問い合わせ  
E-mail: support@suginokoo.org  
または03-3984-2396  
(事務局)



癒恋研修センター

# 賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
  - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」
 

個人	年額	3,000円	以上
団体	年額	10,000円	以上
  - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
 

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費（技能提供予定書）を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の申出から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

## 新しい仲間紹介



坂本 憲治

このたび「すぎのこ芸術文化振興会」の営業に加わった坂本憲治と申します。わたしは子供の時分、リアル野比のび太とまでは言いませんが、オールに近い通知表をいただくことが常でした。なので、皆さんを不安がらせるようでは申し訳ないのですが、事務処理能力は決して高くありません。困ったものです。

けれども、最近こんなことを言われたのでした。「坂本さん、のび太みたいな成績を取れるって逆に凄くない？」確かに！ 上位の成績を取るよりも難易度が高いかもしれません。してみまいか。なにせ学校教育が脳髓に注入され切っていないのですから。

それと関係があるかどうかは分かりませんが、じつはわたし、詩文芸で新人賞を受賞したことがあります。以来、あなたがたいことに、詩作品や詩の批評を書く仕事をいただけるようになりました。わたしのそんな個性の一端が、すぎのこの「芸術文化」の側面に貢献できれば幸いです。

## 活動記録(令和6年7月～8月)

- 10/9 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 10/23 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 11/13 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 11/27 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 12/2 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 12/26 第二期全国巡回公演終了